

テーマ：「環境」

16:00-16:05 振り返り

16:05-16:25 講演①「アフリカ農村部における、井戸向け従量課金型自動料金回収システム『SUNDA』」
株式会社Sunda Technology Global 代表取締役CEO 坪井 彩

アフリカ農村部では過去30年以上にわたり、井戸を始めとした水源の維持管理が適切に行われず、設置された井戸が壊れて放置されてしまうことが起こってきました。それを解決すべく、ウガンダ政府などとともに、援助に頼らない持続可能な維持管理の仕組みづくりとその中で重要となる、継続的な住民からの水料金回収を可能とした「SUNDA」をウガンダ現地のエンジニアとともに開発して、設置を進めてきました。本講演では「SUNDA」やその取組について解像度を上げてお話できればと思います。



16:25-16:45 講演②「小規模農家をアフリカ最大の木材生産者にする取組み」

Komaza, Corporate Finance Manager 本橋 将志

アフリカでは経済成長に伴って木材需要が増加しているものの、従来のプランテーション型林業は複雑な土地所有制度や莫大な初期投資という課題に直面しており、木材供給が追いついていません。そこでコマザは小規模農家の休耕地を活用して、苗木やトレーニングを無償で提供した上で、共同で植林を行ない、伐採時に農家に利益の一部を還元しています。NGOとして設立されてからソーシャル・スタートアップへ移行するまでの過程、森林破壊や気候変動に対する取組みについてお話しします。



16:45-17:05 講演③「環境問題をグローバルとローカルの両方で考える重要性」

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 大山 修一

よりよい環境を次世代へ引き継ぎ、人類や地球の将来を考えるのであれば、環境問題は喫緊の課題であるにもかかわらず、その対策が真剣に議論されることは多くありません。アフリカ・サヘル地域における砂漠化問題とその取り組みを紹介することで、われわれの固定観念をめぐり捨て、日本の廃棄物行政や処分のあり方、日々の生活をみなおし、環境問題の解決の一步として、なにが必要なのかを問いたいと思います。



17:05-17:25 講演④「エチオピアの在来植物を使ってドロドロの道は直せるのか？」

京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 准教授 澤村 康生

エチオピアには、雨季はドロドロ、乾季はカチカチになる特殊土（ブラックコットンソイル）が広く分布しています。これまでの研究から、古紙を微細化加工して得られる粉体を用いることで、泥土の化学組成を問わず、流動性を即時に低下させることができることがわかってきました。この技術を応用し、エチオピアの在来植物からセルロースを主成分とする土質改良材を開発しようとしています。国際的なプロジェクトの取り組みについて紹介します。



17:25-17:55 質疑応答

【注意事項】

■Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには、お答えしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生した、視聴できないといったトラブルにつきましては個別の対応はございません。予めご了承ください。

■次の行為はお控えください。

- ・本シンポジウムの全部又は一部を第三者に提供する行為
- ・本シンポジウムの録音、録画、撮影、その他複製行為
- ・同時に二台以上のデバイスで本サービスを利用する行為

京大オリジナル株式会社

京大オリジナル株式会社は、京都大学が100%出資した事業子会社で、研修講習事業とコンサルティング事業を行っています。弊社の収益の一部は京都大学に還元され、最先端の研究などに活用されます。



イベント情報はこちら

https://www.kyodai-original.co.jp/?page_id=2180



メルマガ登録募集中

<https://submitmail.jp/FrontReaders/add/5070>



Facebookでも情報公開中

<https://www.facebook.com/kyodaoriginal/>



独立行政法人日本貿易振興機構
(ジェトロ)



アフリカにおけるSDGsに向けた
高度イノベーション人材育成のための
国際連携教育プログラム事務局



京都大学
アフリカ地域研究資料センター



京都大学産官学連携本部



お問合せ

京大オリジナル株式会社 プロジェクトマネジメント部

E-mail : kensyu@kyodai-original.co.jp TEL : 075-753-7778